

グローバルCBオープン・ 円コース

追加型投信／海外／債券

第59期末（2016年11月21日）	
基準価額	8,489円
純資産総額	10,188百万円
第54期～第59期	
騰落率	△0.8%
分配金合計	300円

*騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名で検索」にファンド名を入力*⇒該当のファンドを選択⇒「運用実績・レポート」を選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

※償還の場合は、「償還ファンド一覧」を選択

ホームページアドレス
<http://www.daiwasbi.co.jp/>



お問い合わせ先

受付窓口：（電話番号）0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで（土、日、祝日除く。）

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「グローバルCBオープン・円コース」は、このたび、第54期から第59期の決算を行いました。

当ファンドは、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

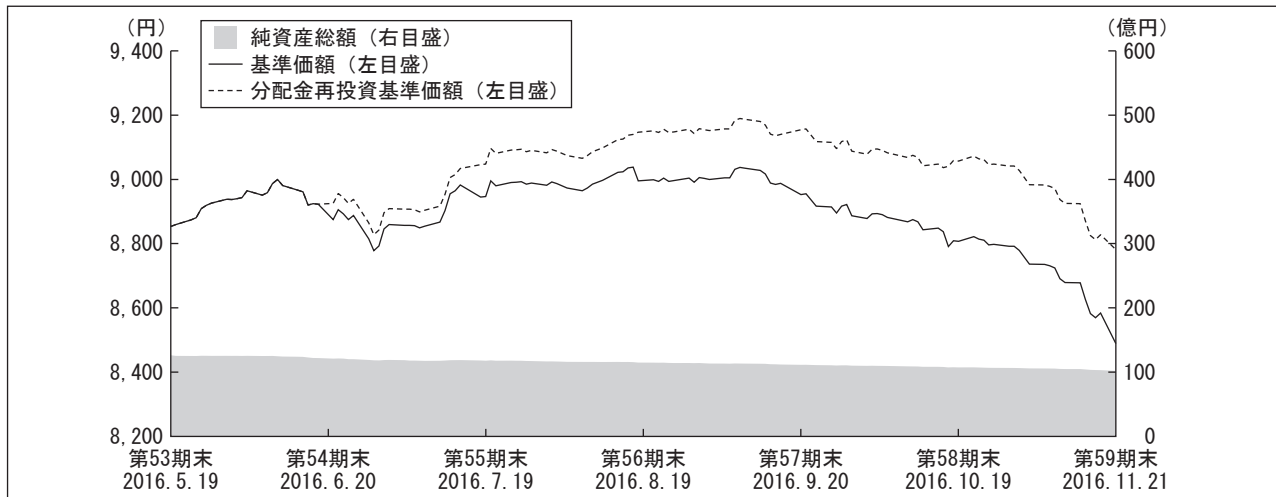


大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

第54期首：8,853円

第59期末：8,489円（作成対象期間における期中分配金合計額 300円）

騰落率：△0.8%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、Global Convertible Bond Fund JPY Classへの投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象としました。

（上昇要因）

主要国の中央銀行が緩和的な姿勢を強めたことにより、主要国の市場で金利が低下しCBにプラスに働いたことが上昇要因となりました。また、米国を中心とするグローバルな株式市場の上昇による恩恵も受けました。さらに、クーポンの高いCBの利息収入も引き続きプラスに貢献しました。

（下落要因）

作成期末にかけて主要国の市場で金利が上昇基調に転じたことや、ドナルド・トランプ氏が米国の次期大統領に選出されたことへの懸念からエマージング市場が下落したことが下落要因となりました。

【1万口当りの費用明細】

項目	第54期～第59期		項目の概要
	2016年5月20日～2016年11月21日		
	金額	比率	
信託報酬	48円	0.537%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は8,910円です。
（投信会社）	(17)	(0.193)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(29)	(0.330)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.005	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	48	0.541	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

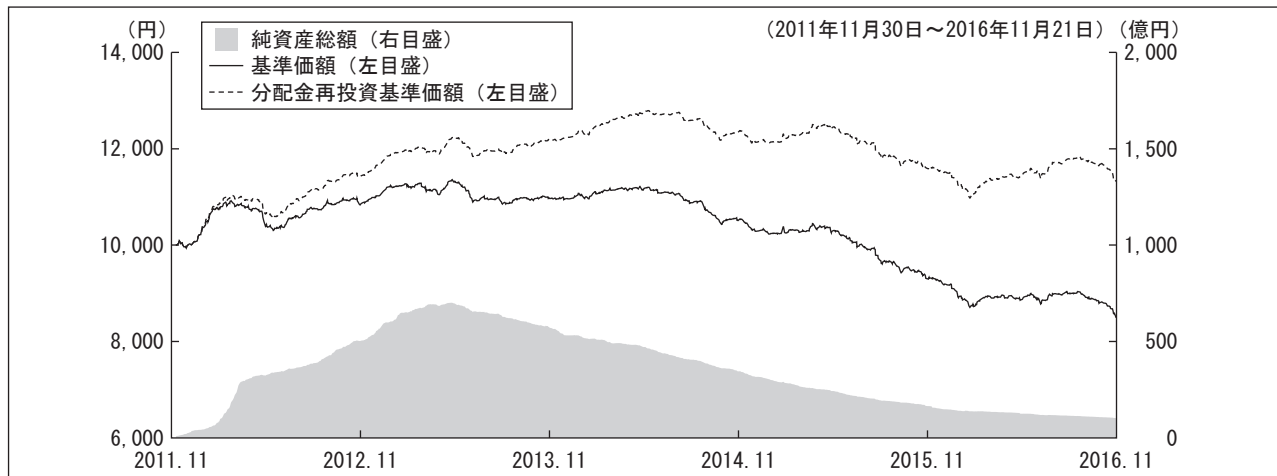
* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日(2011年11月30日)より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2011年11月30日 設定日	2012年11月19日 決算日	2013年11月19日 決算日	2014年11月19日 決算日	2015年11月19日 決算日	2016年11月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,838	10,969	10,515	9,313	8,489
期間分配金合計(税込み) (円)	—	550	600	600	600	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.1	6.8	1.3	△ 6.0	△ 2.5
純資産総額 (百万円)	840	50,248	57,667	34,654	16,535	10,188

【投資環境】

当作成期のグローバルCB市場は、堅調に推移しリターンはプラスとなりました。

当作成期は、政治および金融政策などの動向がグローバルな市場に影響を及ぼしました。政治では、2016年6月に英国の国民投票で欧州連合（EU）離脱（ブレグジット）が選択されたことや、11月に実施された米国大統領選挙において世論調査での事前予想を覆す形でトランプ氏が勝利を収めたことが目立った動きでした。金融政策については、欧州中央銀行（ECB）や日本銀行が量的緩和などの金融緩和政策を継続し、イングランド銀行（BOE）もブレグジット決定を受けて、社債の買い入れをはじめとした包括的金融緩和策を発表しました。米国では、経済成長の改善が続いたものの、米連邦準備理事会（FRB）は利上げに慎重な姿勢を維持しました。こうした各中央銀行の緩和的な姿勢によって主要国の国債利回りは低下を続け債券市場を下支えした一方、金利の低下が金融機関の業績に重石となり、経済成長にマイナスになるという見方が強まりました。さらに、米国大統領選挙においてトランプ氏が勝利したことで、金利環境は作成期末にかけて一変しました。トランプ氏が財政拡大路線を打ち出す中、期待インフレ率の上昇から金利は大幅に上昇し、債券市場は下落した一方、グローバル株式市場は上昇を続けました。このような環境下、グローバルCB市場は作成期前半は堅調な債券市場が下支えとなり、作成期末にかけては株式市場の上昇による恩恵を受ける形となりました。

国内短期金融市場では、国庫短期証券3ヵ月物の利回りが1月末に日本銀行により導入された「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を背景に作成期初-0.25%付近で推移しました。その後も日本銀行の追加利下げへの根強い期待と海外投資家による短期の国債への旺盛な需要などを背景に金利は-0.4%まで低下し、作成期末にかけて-0.3%付近で推移する動きとなりました。

なお、日本銀行は9月下旬に既存の金融政策の枠組みを「長短金利操作付き量的・質的緩和」へ変更しました。

【ポートフォリオ】

■グローバルCBオープン・円コース

主要投資対象であるGlobal Convertible Bond Fund JPY Classを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の投資信託証券組入比率は97.8%としました。

■Global Convertible Bond Fund JPY Class

市場環境の大きな変化に対してできるだけ柔軟で機動的な運用を行うように努めました。エマージング市場のファンダメンタルズの改善と投資家の需要の高まりによる需給面の改善から、アジアを中心にエマージング市場でのリスクを一時的に高めました。キャッシュ比率は一定水準を保ち、ポートフォリオの流動性を維持するとともに、新規発行銘柄を中心とした魅力的な投資機会を活用できるような柔軟性も維持しました。個別銘柄では、ドイツの航空会社であるエア・ベルリンや、香港を拠点として海運事業を営むパシフィック・ベイスンへの投資がプラスに寄与しました。エア・ベルリンは主要株主であるエティハド航空との関係強化が評価され、パシフィック・ベイスンは、ドライバルク船の輸送費上昇による恩恵から上昇しました。韓進海運の破たんによって、他の輸送会社への需要が高まり輸送費の上昇が見られました。一方、南アフリカの石炭会社であるイコール・コールは、石炭価格の下落および南アフリカ国内の経済状況の悪化が嫌気され下落し、マイナスに作用しました。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債中心による運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第54期～第59期の各期において50円とさせていただきます。(1万口当り税込み)

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2016年5月20日 ～2016年6月20日	2016年6月21日 ～2016年7月19日	2016年7月20日 ～2016年8月19日	2016年8月20日 ～2016年9月20日	2016年9月21日 ～2016年10月19日	2016年10月20日 ～2016年11月21日
当期分配金 (円)	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率) (%)	0.56	0.56	0.55	0.56	0.57	0.59
当期の収益 (円)	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,693	1,711	1,729	1,744	1,760	1,775

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■グローバルCBオープン・円コース

引き続き、運用の基本方針に従い、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

■Global Convertible Bond Fund JPY Class

主要国の中央銀行による資産買い入れなどを通じてグローバルな流動性は下支えされていると見ています。米国の経済指標は緩やかな回復を示していることから、FRBは今後1年から1年半ほどの間に徐々に金融引き締めを行っていきと考えられます。金融政策に加えて、財政刺激策に関する要人の発言も出始めており、経済成長や企業業績が押し上げられ、株式市場の上昇につながる可能性があると考えています。グローバルCBは引き続き魅力的な資産クラスであると考えており、このような市場環境下で恩恵を享受できる状況にあると期待しています。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

日本銀行の「長短金利操作付き量的・質的緩和」への政策枠組み変更後も、残存1年未満の国債・政府保証債の市場利回りはマイナス圏で推移しています。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

お知らせ

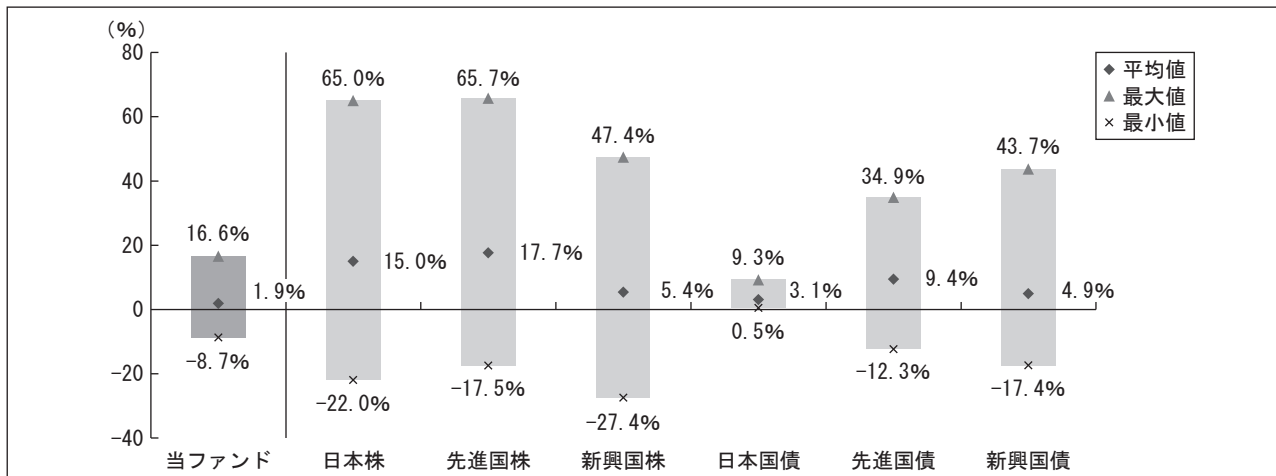
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年11月30日～2021年11月19日（約10年）	
運用方針	主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・Global Convertible Bond Fund JPY Class受益証券 ・キャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券
	Global Convertible Bond Fund JPY Class	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の転換社債（CB） ・為替取引の活用
	キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。 ・外国投資信託証券への投資比率は、原則として高位を保ちます。 ・銘柄の選定に当たっては、市場平均よりも相対的に利回りの高い銘柄を中心に、企業の信用力分析や株式価値等を総合的に勘案して銘柄を選定します。 ・原則として保有する外貨建資産に対し、米ドル売り、円買いの為替取引を行う外国投資信託証券に投資します。 	
分配方針	<p>毎月19日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2012年11月～2016年10月
 代表的な資産クラス：2011年11月～2016年10月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	Citigroup Index LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

《当該投資信託の組入資産の内容》

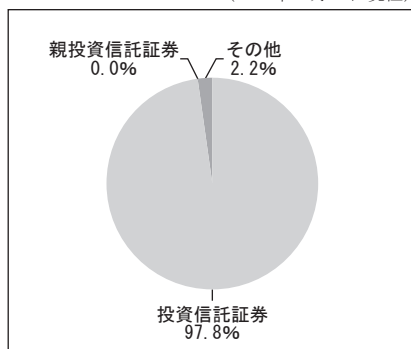
【組入ファンド】

	第59期末（2016年11月21日）
	組入比率
Global Convertible Bond Fund JPY Class	97.8%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.0%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

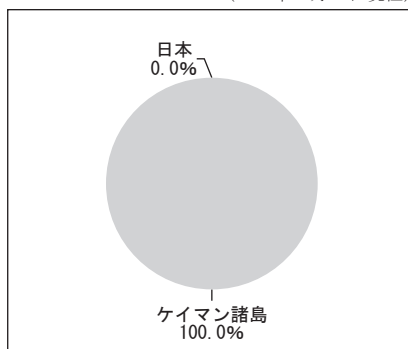
(2016年11月21日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

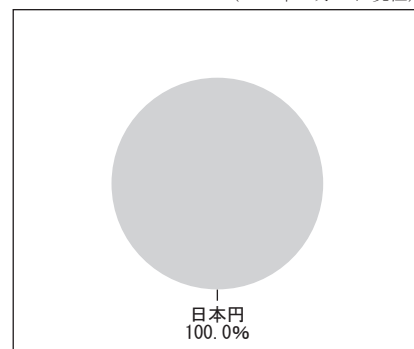
(2016年11月21日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2016年11月21日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

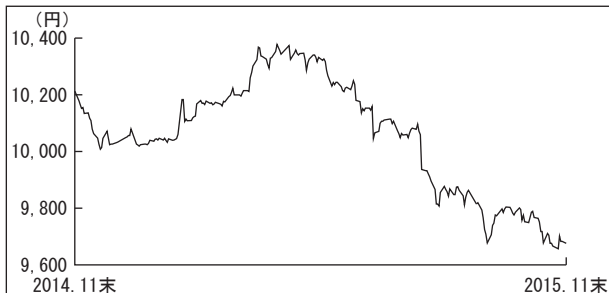
項目	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末
	2016年6月20日	2016年7月19日	2016年8月19日	2016年9月20日	2016年10月19日	2016年11月21日
純資産総額	12,098,229,940円	11,808,644,276円	11,482,506,657円	11,134,359,728円	10,728,687,353円	10,188,840,065円
受益権総口数	13,632,147,769口	13,200,745,388口	12,765,156,599口	12,437,146,314口	12,203,956,445口	12,002,206,983口
1万口当り基準価額	8,875円	8,945円	8,995円	8,953円	8,791円	8,489円

*当作成期間中における追加設定元本額は70,246,320円、同解約元本額は2,325,486,153円です。

《組入ファンドの概要》

■Global Convertible Bond Fund JPY Class

【基準価額の推移】



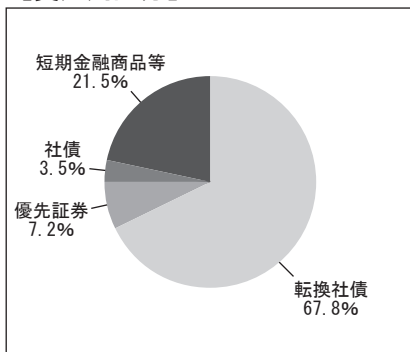
*上記グラフは、基準価額に分配金を分配時に再投資したものと表示しております。

Global Convertible Bond Fund

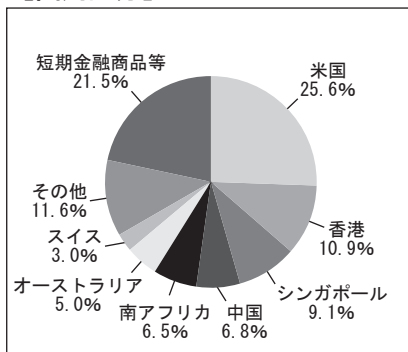
【1万口当りの費用明細】

費用については、開示されていないため、掲載しておりません。

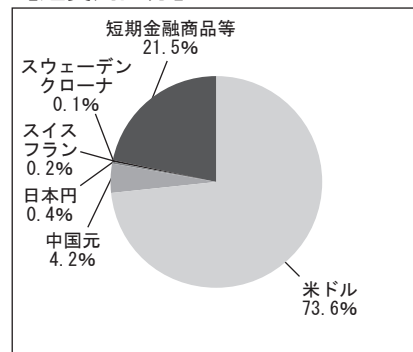
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



【組入上位銘柄】

銘柄名	国名	クーポン	償還日	業種名	比率
1 OLAM INTERNATIONAL LTD	シンガポール	6.000%	2016/10/15	食品・生活必需品小売り	4.7%
2 CAPITALAND LTD	シンガポール	1.850%	2020/6/19	不動産	4.5%
3 CHINA DAYE NON-FERROUS M	香港	0.500%	2018/5/30	素材	4.2%
4 SINA CORP	中国	1.000%	2018/12/1	ソフトウェア・サービス	4.1%
5 ASIA VIEW LTD	香港	1.500%	2019/8/8	運輸	4.0%
6 LIBERTY INTERACTIVE LLC	米国	3.500%	2031/1/15	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.7%
7 Bank of America Corp	米国	7.250%	2049/12/31	銀行	3.7%
8 Wells Fargo & Co	米国	7.500%	2049/12/31	銀行	3.5%
9 ARES CAPITAL CORP	米国	4.750%	2018/1/15	各種金融	3.5%
10 LIBERTY INTERACTIVE LLC	米国	4.000%	2029/11/15	電気通信サービス	3.3%

(組入銘柄数 31銘柄)

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は2015年11月末現在のGlobal Convertible Bond Fundの純資産総額に対する比率です。

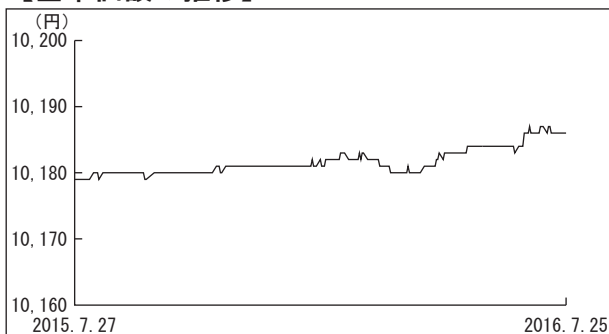
※ 組入上位銘柄における業種名は世界産業分類 (GICS) です。

※ 当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のGlobal Convertible Bond Fundの情報を記載しております。

※ 詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

※ 上記はブルーベイ・アセット・マネジメント・エルエルピーから提供されたデータに基づき作成しております。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 【基準価額の推移】



【1万口当りの費用明細】

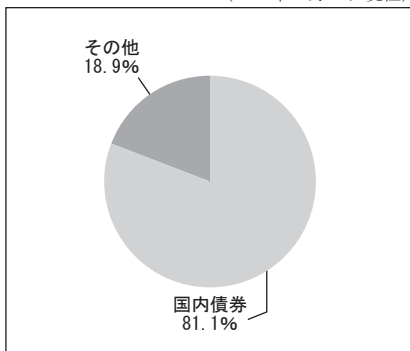
(2015年7月28日～2016年7月25日)

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。
 *期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 *円未満は四捨五入しています。

【資産別配分】

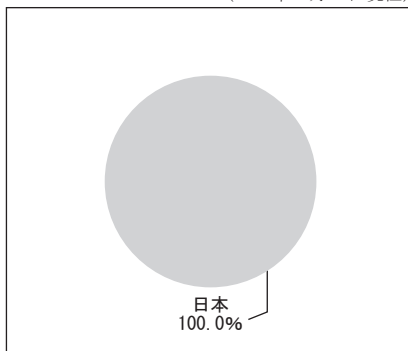
(2016年7月25日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

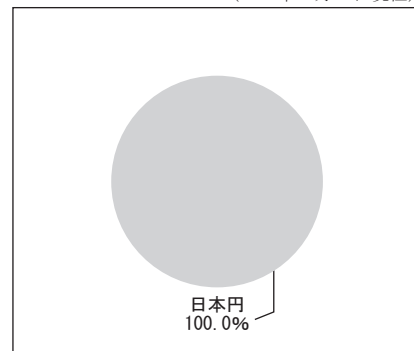
(2016年7月25日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2016年7月25日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2016年7月25日現在)

銘柄名	比率
1 197 政保預金保険	12.2%
2 873 政保公営企業	10.3%
3 156 政保道路機構	8.1%
4 30 政保道路機構	6.2%
5 16 政保政策投資B	4.1%
6 25 政保道路機構	4.1%
7 16 沖繩電力	2.1%
8 30 東海旅客鉄道	2.1%
9 39 日本精工	2.1%
10 18-7 埼玉県公債	2.1%

(組入銘柄数 24銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。
 ※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
 ※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。



世界に通用する質の高い
資産運用会社を目指します